

テーマ

本を読んでほしいけれど・・・

読書の魅力とは？



エピソード

のり君は、家では、テレビを見たりゲームをしたりしている時間がほとんどです。お父さん、お母さんは、のり君に読書をしてもらいたいと思っています。

ワーク1

あなたなら、のり君にどんな言葉をかけますか？

ワーク2

あなたが思う読書の魅力、読書の良さとは何ですか？

話し合いの後に、ワーク3をお書きください

ワーク3

お子さんに読書の魅力を感じてもらうために、あなたはこれからどうしたいと思いますか？

子育てのヒント

ポイント

多くの本の中から、お子さんの**好奇心が見えた瞬間**をとらえる
～子どもの選択を**尊重**しよう・**大人自身**が楽しもう～

資料

○保護者の支援が子どもの読書活動へ及ぼす影響

・家庭で **家に本をたくさん置く** **図書館に連れて行く** を実施している場合
→「本を読むことが好き」と回答した子どもの割合
実施していない場合より5ポイント以上高い
(子どもの読書活動を推進するための保護者調査より)

そこで
おすすめ 😊

☆10冊程度の本を図書館で借りてきて、その中で子どもが「くり返し読みたい」という反応を示した本を購入してみる。

☆押しつけが入ると、本を読むことが義務となる時があるため、お子さんが気に入った本を自由に選ぶことができるようにする。お子さんが同じ本をくり返し読むことについて、心配する必要はありません。

子どもを本好きにするために 😊

1. 日々、子どもとたっぷり会話しよう
2. 毎日、テレビやスマホ、ゲーム等のない静かな時間がある程度はつくろう
3. 自然な声で読み聞かせをしよう
4. ときには子どもの選択も尊重しよう
5. 家族で図書館や本屋に行こう
6. まずは、大人自身が本を楽しもう

🌸豊かな読書体験は、知的能力の向上だけにとどまらず、一人の人間として力強く生きていく糧となるあらゆる体験が得られます。遊びの時間も確保しつつ、楽しみの中で本に触れていくことが望ましいですね！